

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 2月 16日

公表: 令和 6年 2月 19日

事業所名 児童デイサービスほーぷふる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2	職員の配置数は適切である	7		人員基準について常に意識するよう気を付けている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	・ジョイントマットを使用し、クッション性のある床材を取り入れている ・トイレや忘れ物防止等を絵のポスターとしてわかりやすい位置に表示している ・構造化については、構造化しなくても少しずつ丁寧に声をかけ対応することで安心して過ごせるような支援を続けていきたい	・既存建物出入口に段差が多く、完全なバリアフリーとはいかない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		・業務終了後、子どもたちの生活空間や、おもちゃ、マット類を消毒している ・楽しく過ごす場所と静かに過ごす場所を分けている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	振り返りは実施しているが、PDCAには至っていない点がある	日々のミーティングに於いて、PDCAに基づき振り返りを実施しているが左記の意見のようにPDCAと認識していないスタッフにたいし理解が得られるよう対応して行きたい
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		定期的に評価を実施し、保護者様の意向を確認しながら改善につなげている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2	・わからない	・新入職のスタッフに対し、自己評価の公表先等も周知していく必要がある
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	・第三者による外部評価は実施していない ・よくわからない	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・虐待防止や障害特性についての研修あり ・もっと研修の機会を増やし、より質の向上を目指したい	・感染症の流行の兼ね合いにより、オンライン研修が主体であるが色んな研修を受講できるようにしていきたい
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		・利用される保護者様の要望だけではなく、子ども自身へも次の課題や目標等を聞き取り個別支援計画へ取り入れている	・法改正等の兼ね合いにより、5領域を明確にそた支援を心掛けたい
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2		・学習困難児童や不登校児童の増加に伴い、アセスメントシートの見直しを行い現状把握に努めたい
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			・法改正等の兼ね合いにより、5領域を明確にそた支援を心掛けたい
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		・常に個別支援計画の内容を意識しながら支援に努めている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	イベントや活動について、計画立案書等を活用し周知できるよう努めている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	季節や行事を取り入れ、固定化しないように意識している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	7			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		・日々のミーティングに於いて綿密に確認している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4	・送迎の戻り時間に差異があるため翌日のミーティングに於いて振り返りや情報の共有ができるようにしている	

19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	モニタリングのタイミングに留意し、保護者様だけでなく、職員の意見も含め情報をまとめるようにしている	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		今後機会があれば同席し、学びを深めたい	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		利用児童や保護者様に関する状況の変化、現状報告等を含めてこまめに連絡をとっていると思う	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	4	・以前は関係機関と連携しながら支援していたが、現在該当児童なし ・わからない	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	4	・以前は関係機関と連携しながら支援していたが、現在該当児童なし ・わからない	・機会があれば積極的に連携していきたい
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	4	・以前は関係機関と連携しながら支援していたが、現在該当児童なし ・わからない	・機会があれば積極的に連携していきたい
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	4	・以前は関係機関と連携しながら支援していたが、現在該当児童なし ・わからない	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	・機会があれば積極的に参加したい ・わからない	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	3	・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染症の拡大予防を含め、交流する機会は減っているが地域の公園遊び等を通じ、事業所以外の子どもたちと交流を持つ機会を増やしている	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	2	・療育部会等、積極的に参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		・連絡帳やメール等で活動の様子を共有している ・連絡ツールを活用し相互理解を図っている	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7		・保護者様からの相談や疑問に関し、迅速に対応している	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時や利用者負担額に変更があった場合等、適宜説明している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		・保護者様からの相談や疑問に関し、迅速に対応している	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	・保護者会等を計画、立案するもコロナやインフルエンザの流行時期と重なり実施されてない	・機会があれば積極的に開催していきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		・保護者様からの相談や疑問に関し、迅速に対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	・利用予定表や連絡帳等に活動内容を記載し共有している ・解放の代わりに、月間予定表等を配布し周知している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		・常に相手が理解しやすい方法を考え、ジェスチャーの活用や、メモ、等を駆使し正確な情報を伝えるように努めている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7	・個人情報や感染症予防の観点から見実施	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時や台風等天候による対応について案内用紙を配布している</li> <li>・感染予防に関するお願い等も適宜周知している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯マニュアルについても保護者様へ周知していきたい</li> </ul>
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に避難訓練を実施している</li> </ul>	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	4 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在該当児童なし</li> <li>・わからない</li> </ul>	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットがあった際には必ず実施している</li> </ul>	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2 <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時のアセスメントや、重要事項説明書において説明し同意の署名あり</li> <li>・現在、自傷他害行為の該当児童なし</li> <li>・わからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後対象児童を支援する機会があれば実施していく予定</li> </ul>

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。